

一般社団法人  
日本掃除  
能力検定協会

# 初心者からエキスパートまで誰でもトライできる お掃除の検定資格誕生

## 正しい掃除法と人材育成を目的に

# 掃検(そうけん)協会が実施

一般社団法人日本掃除能力検定協会(東京都墨田区)は、今年度から掃除能力検定士資格(掃検)の取得試験を開始した。同協会は、38年間清掃関連事業(掃除資機材の製造・輸入・販売、ビルメン業等)に携わってきた近藤武志氏を代表として平成21年12月に設立、「知識・技能・作法としての掃除」を学ぶことで、現代の組織社会において温かい心と掃除基礎能力を備えた人材を輩出する協会でありたいとの思いからスタートした。また、多くの人々が正しい掃除のやり方を学習し掃除検定に合格していくことで日本の掃除テクノロジー(掃除工学)を浸透させ、世界の掃除方法の標準化を目指すことも視野に入れている。



近藤武志代表

協会が実施する掃除能力検定(掃検)とは、どんな検定なのか。最大の特徴は、誰でも受検可能な点にある。家の掃除をもっとうまくしたい、会社や店舗で掃除をもっと効率的にやりたいなど、掃除に興味のある人から清掃を生業としている人まで、年齢や資格、性別、国籍を問わず、誰でも受検できる。

カーペットにコーヒーがこぼれてしまった、油性ペンで落書きされた、トイレの臭いがひどく苦情が後を絶たない、窓がいつも汚いなど、従業員だけでなく対応しなくてはならない場面は多々ある。しかし適正なケミカルを知らない、素材に対応できない、拭き掃き以外掃除のテクニックがわからないゆえに、清潔な環境を保つことができない施設はかなりの多い。また清掃は適当でいいという経営者の店舗はほとんど汚く、従業員にもその精神は及んでしまつた。

### 6月9日に試験

試験は、掃除の難易度別に5段階に設定されている。「掃検5級」(初級/パーソナルコース)は、掃除に関して初歩的な知識を学び、筆記試験のみ。「掃検4級」(中級/オフィス・ルコース)は、オフィス、飲食店、美容院、歯科・歯科等、商業エリアの管理業務など、接客・施術等に必要とされる掃除に関する専門的な知識を学ぶ。筆記試験のみ。「掃検3級」(中級/メジャーコース)は、オ

ナー・担当責任者として臨み、オフィス・飲食店などの清掃業務等、専門的な知識を学ぶ。筆記と実技試験。「掃検2級」(上級/ビジネスコース)は、掃除関連事業、ハウスクリーニングで独立・起業する人が必要とされるすべての業務を学ぶ。筆記と実技試験。

試験問題は、洗剤・用具・機械の知識、作業動作の知識、作法の知識の3つのカテゴリに分かれている。メーカー・輸入商社・卸・販売店と連携し、最先端の掃除テクノロジーを採用し、常に新しい用具・機械・ケミカル類、新しいシステムを取り入れ、安全で効率の良い掃除手法を取り入れているのが特徴。検定試験に合格すると、認定証「掃除能力検定士〇級」が発給される。同協会では2回目となる「掃除能力検定5級」試験を6月9日に、東京・墨田区のみだ産業会館で開催する。多肢選択式問題は、「知識としての掃除」15問、「技能としての掃除」15問、「作法としての掃除」10問、「掃除用語・用具集」10問等、計50問が出題される。合格基準は100店満点中70点。試験時間は60分。受検料は2800円。「掃除能力検定士5級」のテキストブック(1800円)を発売中。協会ホームページから購入できる。近藤武志代表理事は今後の活動について、「日本の掃除テクノロジーを世界に広めていき、世界のST産業として発展させることが当協会の使命と考えます。SUSHI(寿司)、KAIZEN(改善)、TOUFU(豆腐)と同じように、SOJJI(掃除)が必ず世界共通語になるように、日本掃除能力検定協会が最善を尽くします。皆様のご支援をよろしくお願い致します」と語る。

◆問い合わせ：一般社団法人日本掃除能力検定協会  
東京都墨田区錦糸2-10-1、03-1201-453  
004、http://www.sojjitenka.or.jp/